地域の基幹病院として患者様の健康に役立つ情報を！

東京警察病院オリジナル広報誌

T.M.PH.ニュース

2016 Autumn Vol.16

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 医療の安全について
- 臨床生理検査科の紹介
- 医師コラム「高齢になってからの腰痛、それは圧迫骨折かも?!」
- 産科病棟の紹介
- 東京警察病院DMAT
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介

医療の安全について

医療安全管理室 専従リスクマネージャー
看護師長　山崎光代

テレビの健康番組などで最先端医療や名医などについて知る機会が増えましたが、皆さんは受診する病院をどのように決めていらっしゃるのでしょうか。

医療の内容にもよりますが、まずは信頼できる病院かどうかが大きなポイントになりますね。そこで皆さんが安全で信頼のおける医療が受けられるよう、病院が行っている「医療安全」についてご説明します。

『患者・家族はチーム医療のパートナー』

病院では、医師、看護師をはじめとする様々な専門職が互いに連携・協調して医療を行ういわゆる「チーム医療」として、安全で質の高い医療を提供するよう努めています。

ただし、「チーム医療」に欠かせないのは、患者様とそのご家族のご協力であり、医療者から必要な情報の提供を受け、話し合い、納得の下で自分たちにとってよい治療を決めることがなによりも大切です。

「診断と問題点」、「治療とリスク（治療の効果、治療しない場合のリスク）」などについて医療者と話し合い、受ける検査や治療を理解して同意することが医療安全に繋がります。

『患者間違い防止～フルネームでお答え下さい』

1999年、異なる患者に異なる手術を行った医療事故がありました。医療安全の基本は「名前の確認」です。当院で検査や治療を受ける場合には、まず患者様に名前を名乗ってもらう、入院中は手首に装着したIDバンドで確認（認証）を行うことで安全確保をしています。何度も名前を言うことは面倒と思いますが、より安全な医療を提供するためフルネームで答えていただくようご協力をお願いします。

臨床生理検査科の紹介

臨床生理検査科部長　笠尾昌史

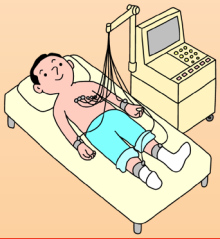
臨床生理検査科は医師1名、臨床検査技師21名、視能訓練士6名、臨床心理士1名の計29名の大所帯です。

当科業務の一番の特徴は、患者様にじかに接して検査を行うことですので、科員は身だしなみに気を付け、患者様に不用意な発言をしないなど不快感を与えないことはもちろん、患者様の訴えを聞き検査結果と合わせて病態を判断し、検査所見上急を要すると判断した場合にはただちに結果を臨床サイドにフィードバックするなどの機転が求められる部門です。

全ての診療科から検査依頼を受け、その業務内容は広範にわたりますので代表的な検査のみをご紹介します。心電図関係では12誘導心電図検査が年間12,000件強と飛びぬけて多く、循環器科をはじめとする内科からの依頼と術前検査としての依頼に大別されます。この他に不整脈や狭心症などの診断を目的とするホルター心電図検査(1,000件)や運動負荷心電図検査(600件)もあります。超音波検査としては、心臓の精査を目的とする心臓超音波検査(4,400件)と腹部諸臓器の精査を目的とする腹部超音波検査(2,200件)が主たるものですが、動脈硬化性疾患の増加に伴い頚動脈エコー検査が増えています。呼吸機能検査は術前検査としての役割の他、肺疾患の評価に重要な検査です。その他、脳波、聴力、平衡機能、視力、眼底、眼圧測定など数多くの検査があります。

科員は診断精度の向上を目的に自らの技量を磨くことを常に心掛け、また最新の情報を取得するために各種講習会や学会に積極的に参加しています。

患者様に親切・丁寧に接するとともに質が高く診療に役立つレポートを提供する臨床生理検査科を目指しておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



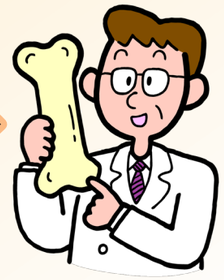
東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful（ソートフル）・・・・患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical（テクニカル）・・・・医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy（トラストウォーシィー）・・・・皆様の信頼に応えていきます

医師コラム

高齢になってからの腰痛、それは圧迫骨折かも？！



いつまでも元気でいるために、高齢者にとって避けたいものの一つが脊椎圧迫骨折などの「骨脆弱性骨折（こつぜいじゃくせいこっせつ）」。
骨粗しょう症が主な原因で、特に女性に多く見られます。骨折から寝たきりになるケースも少なくないため、早めに対策し、予防することが大切です。

整形外科主任医長
堀田（ほった） 緒留人（おると）
［主な資格］
医学博士
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医
［メッセージ］
脊椎外科の診療を中心に行います。
脊椎圧迫骨折に対しては、経皮的椎体形成術(BKP)を積極的に行います。適応でない場合には、脊椎固定術を行う事があります。

【加齢や女性ホルモン減少で骨がもろく…尻もちで背骨が潰れてしまうことも！】

―なぜ、高齢者の突然の腰痛は要注意？

脊椎圧迫骨折の可能性があるからです。脊椎圧迫骨折は、背骨を構成する「椎体」という円筒形の骨が外的な圧力によって潰れてしまう骨折のことで、高齢者の場合は主に骨粗しょう症で骨がもろくなっているために起こります。

中には、軽い尻もちや、気づかないうちに骨折していることもあります。骨のもろさが原因なので、背骨以外にも、大腿骨頸部や手首、肩、肋骨などが折れることもあり、これらを総称して「骨脆弱性骨折」と呼んでいます。

【60代女性の２人に１人が骨粗しょう症とも言われます】

骨粗しょう症の原因は？

加齢もありますが、もう一つの大きな原因が、女性ホルモンの減少です。骨は、古い骨を溶かす「骨吸収」と、新しい骨を作る「骨形成」を繰り返して、良い状態を保つのですが、女性ホルモンが減少すると骨吸収を抑える作用が衰えて骨量が減っていきますので、骨粗しょう症になるのは閉経後の女性が圧倒的に多いのです。

骨粗しょう症への対処は？

基本は食事と運動ですが、骨密度検査で骨量の減少が明らかであったり、骨脆弱性骨折の既往がある場合には、薬物治療が必要となります。特に40代前半で閉経された方などは、50代でも骨密度が低くなっている可能性があります。「若いから」と油断は禁物です。

薬は従来、骨吸収を抑えるものが主流でしたが、今日では骨形成を促す薬もありますので、これらを年齢や骨量、脆弱性骨折の有無を考えて選択していきますので、担当医とよく相談してください。

治療について、教えてください。

骨脆弱性脊椎圧迫骨折は、基本的には保存療法で骨が自然に固まるのを待ちます。初期は動くと強い痛みが出るので、コルセットなどをして安静にしていただきます。ただし、状況によっては手術を選択することもあります。

注意してほしいのは、突然腰痛が出た場合などに骨折したとは思わず整体院などにかかってしまうことです。まずは、医療機関でレントゲン検査を受けて椎体骨折の有無を確認することが大切です。

骨粗しょう症とうまく付き合うには？

骨脆弱性骨折を防ぐことが大事です。特に脊椎圧迫骨折を予防するには、日頃から姿勢を正しく保つことが肝心です。背骨は、頸椎が前彎(わん)・胸椎が後彎・腰椎が前彎というＳ字のカーブになっているのですが、どこか一点に無理が生じないようにこのカーブを維持することが大切です。

頭上から吊られているイメージで姿勢を正し、背中の筋肉をぎゅっと引き締めておくと良いでしょう。

産科病棟の紹介 ～妊婦さん・赤ちゃんにやさしい看護をしています～

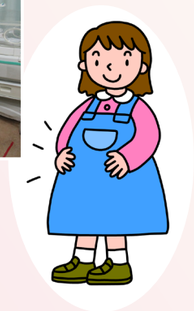
５階東病棟看護係長　助産師　横田　実恵子

マタニティークラスの様子

東京警察病院はどなたにでも受診していただける病院です。産科も同様で、開院から4,000人以上の赤ちゃんが誕生しました。5階東病棟は産婦人科・乳腺外科・女性病棟として機能しており、当院の産科は5名の医師と19名の助産師で構成され、経験豊富な助産師が中心となり妊娠期から分娩、産後まで継続した看護を大切にしています。

私たち助産師は、安全で安心なお産ができるように妊婦健診から病棟助産師が担当し、必要な保健指導を行います。また病棟の助産師で運営している“マタニティークラス”は全3回で構成されており、第一回目は妊娠前期の妊婦さんを対象にした『妊娠中の保健・食事について』、第二回目は立会い分娩を希望されるご家族を対象にした『お産の経過や入院してからの過ごし方』、第三回目は『赤ちゃんのことや母乳育児について』です。

当院では母乳育児を推進し、産後は赤ちゃんの体重増加を確認する“すくすく外来（無料）”、母乳育児や乳房の状態を看る“助産師外来”を開設しています。さらに育児支援のひとつである“ひよこクラス”は赤ちゃん同窓会で、生後2～5か月の赤ちゃんを対象に、ベビーマッサージや母乳育児相談を行っており大変人気があります。その他“アロマセラピー外来”ではアロマセラピストの資格を持つ助産師が妊娠中や産後に生じるむくみや肩こり・腰痛などのケアを行います。



お産は人生の一大イベントです。その大切な時間に寄り添える私たちでありたいと思っています。地域のみなさまに喜んでいただけるよう、これからも看護部理念である“あたたかい看護”を大切にしてまいります。

分娩後アンケートから

＊他の病院を知らないので比べることはできませんが、とにかくこちらでお世話になり、良かったと思っています。温かいスタッフの皆さん、経験豊富な助産師さんたちの授乳指導のおかげでしっかり母乳が出るようになりました。退院後も自信を持って育児ができそうです。（経産婦）

＊本当に辛かった。痛かったですが…産声を聞いたらそんなこと一気に忘れました（笑）。先生、助産師さん方にはたくさん助けてもらい、無事に出産することができました。また二人目の時はよろしくお願いします。（初産婦）

＊助産師さんの顔を見るととても安心出来ます。聞きたいことも聞け、体調を気にかけてくれ、本当にこの病院でよかったです。足形をとったメッセージカードもとても嬉しかったです。（初産婦）

東京警察病院DMAT

平成28年度大規模地震時医療活動訓練

平成28年8月6日東京国際空港でのSCU（臨時医療拠点、Staging Care Unit)の展開訓練に参加しました。訓練は東京都からの派遣要請に始まり、東京国際空港SCUに参集したDMAT7チーム（37名）で資器材を搬入し20床を展開。

自衛隊機が仮想患者（人形）を乗せ、山梨小瀬スポーツ公園からＣＨ47（ヘリコプター）、名古屋飛行場からＣ130（航空機）が飛来し、実機を使用した傷病者を受入れる広域医療搬送訓練を行いました。

今回の訓練は南海トラフ地震を想定し山梨、静岡、愛知、三重を被災地とし全国のDMATが被災地域内の医療機関等に参集、広域医療搬送等の図上・実働訓練を実施しました。

- 被災地域内訓練参加病院
  81施設（山梨12、静岡21、愛知35、三重13）
- DMAT　289隊（1,400名）
- ドクターヘリ12機

また警察・消防・自衛隊等が参加しました。

広域医療搬送とは、被災地内の空港等から傷病者を被災地外の拠点へ搬送し、待機している救急隊などにより救命救急センター等に運ばれ、迅速な高度医療により傷病者の治療を行います。

広域医療搬送の目的は、大規模災害時には多数の傷病者の発生、被災地内の病院機能の低下、人的・物的資源の低下などが想定されることから、緊急治療を要する傷病者に対し、被災地外での高度な医療の提供及び被災地内の医療負担の軽減を図ることを目的としています。

区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と健康の知識について当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第76回 10月29日(土)

テーマ 狭心症、心筋梗塞の治療と予防

循環器科医長　新田 宗也

第77回 11月12日(土)

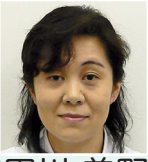
テーマ 大腸癌について

外科医長　竹之内 信

第78回 12月3日(土)

テーマ 感染症～ヒトからうつる病気、動物からうつる病気～

小児科部長　宇田川 美野子



講演後には、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

受講料 無料

◆時　　間：10:30～11:30(開場10:20)
◆場　　所：東京警察病院　9階　大会議室
◆参 加 申 込：経営企画課へお申し込み下さい。
①電 話：TEL 03-5343-5611(内線14552)
受付時間:8:30～17:00（日曜・祝日除く）
②FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話番号・FAX番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします
＊各回とも定員になり次第、締め切りとさせて頂きます
＊当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声 ●症例を出してくださり分りやすかったです ●専門的な話で勉強になった ●今後も、講座を継続して開催して欲しい ●さまざまなテーマを開催して欲しい ●予防に役立てたい

過去に開催されたテーマ ●子宮癌について～診断と治療と予防～ ●認知症～ものわすれが気になったら～ ●身近にある白血病 ●膝関節と肩関節の疾患と治療法～関節鏡での治療について～ ●形成外科・美容外科ってどんなことするの？

予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ（所要時間約4時間30分）

受付(8:00) → 身体測定 → 血液・尿検査 → 血圧・脈拍測定 → 眼科検査 → 聴力検査 → 呼吸機能検査 → 心電図検査 → 腹部超音波検査 → 診察 → 胸部X線検査 → 上部消化管検査 → 結果説明 → 終了（およそ12:30）

オプション検査（基本コースを受診し、事前にご希望された方）

※検査の順序は、状況により前後します。

コース料金

基本コース　54,000円(税込み)

＊その他コース、オプションを多数ご用意しております。
詳細は予防医学センターまでお問い合わせください。

ご予約・お問合せ先
予防医学センター(9階)
受付時間／月曜日～土曜日　10:00～16:30
電話番号／03-5343-5750(直通)

診療のご案内

受付時間

月曜日～土曜日　午前 8:00～11:30　午後 12:30～16:00

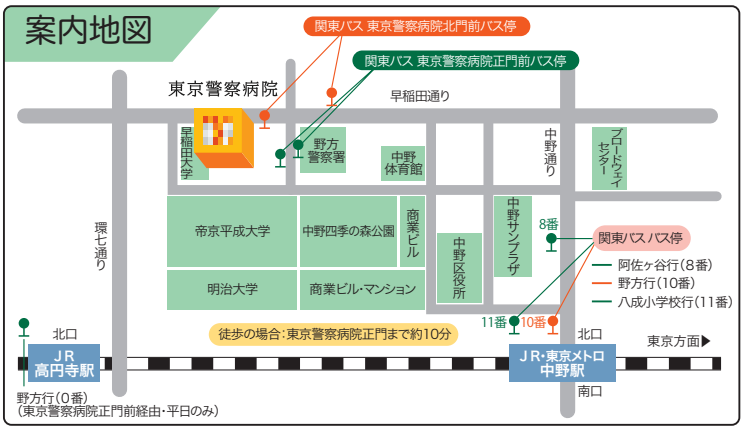
■ 自動再診受付機 稼働時間……7:30～16:00
■ 自動入金機 稼働時間……8:30～17:00
※防災センター自動入金機：24時間稼働

■ 休診日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～/1/3)

レストラン「憩」
9F
営業時間：7:30～18:00

ナチュラル・ローソン
1F　ATMあり
営業時間：6:00～21:00

案内地図



P 屋外駐車場 119台 一般料金：200円/30分 受診者料金：100円/30分

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします

基本方針

●私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
●私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
●私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
●私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
●私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

●**基本的権利**
良質で安全な医療を、等しく受けることができます

●**情報を得る権利**
十分な説明と情報提供を受けることができます

●**自己決定と選択自由の権利**
自己の意志に基づき、治療を選択すること、あるいは拒むことができます

●**情報保護の権利**
個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます

●**責任と義務**
他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を妨げるような行為は、慎んでいただきます

〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22番1号　電話番号：03-5343-5611（代表）
発　　行：東京警察病院 経営企画課
編集制作：有限会社タイム商品研究所